

2016年9月15日
東日本旅客鉄道株式会社
高崎支社

今年の秋みなかみと高崎で開催する

「鉄道イベント」のメニューが決まりました！

10月より開催する「ググっとぐんま観光キャンペーン」期間中のイベントとして、10月15日(土)に「鉄道わくわく体験 in みなかみ」、10月29日(土)に「高崎鉄道ふれあいデー」の2つのイベントを開催します。

両イベントの具体的なメニューが決定しましたのでお知らせします。
ご家族、お友達と一緒にぜひお越しください。

1 鉄道わくわく体験 in みなかみ

(1) イベント概要

- ① 日 時： 10月15日(土) 10:00~15:00 (最終入場 14:30)
- ② 場 所： 水上駅転車台広場ほか (水上駅から徒歩約5分)
- ③ 入 場 料： 無料
※混雑状況に応じて入場制限をさせていただく場合がございます。
※駐輪場・駐車場はございません。歩きやすい靴でお越しください。

(2) 主なイベントメニュー

- ① 特徴
鉄道の安全運行を支える様々なメニューを体験できます。
また、小さなお子さまもお楽しみいただけるキッズコーナーやミニSL、ご乗車等も体験いただけます。
- ② 車両展示
D51 498・モーターカーとワンフレームトロ(レール運搬用)を展示します。
- ③ 実演・体験型メニュー
 - 保守作業車両の乗車体験(軌陸型高所作業車)
列車の安全運行を陰で支えている保守用機械の乗車体験ができます。
※小学生以上の方とさせていただきます。
※乗車は14時30分までとさせていただきます。
 - レールスター乗車体験
降雨時や災害時に線路の保守・点検を行う車両の乗車体験ができます
※小学生以上の方とさせていただきます。
※乗車は11時00分~15時00分までとさせていただきます。
 - 鉄道電話(磁石式)体験
異常時などに活躍する鉄道用の電話の体験ができます。
 - 鉄道スタンプ押印体験
車内改札等で使用するスタンプを使用して、イベント来場の思い出づくりができます。



④ おたのしみメニュー

● ミニSL乗車コーナー

蒸気で走る本物の小さなSLにご乗車いただけます。

● 駅長・機関士制服記念撮影コーナー

子供用の駅長・機関士制服を着用して記念撮影をお楽しみいただけます。

※カメラ等はお客さまご自身でご用意ください。

● 会場内鉄道クイズスタンプラリー

会場内の3ヶ所に設置したスタンプを押印し、鉄道クイズに答えるラリーを実施します。

詳しくは当日入場の方にお配りするパンフレットをご覧ください。ご参加いただいた方には抽選で粗品をプレゼントします（景品が無くなり次第終了します）。

● 鉄道模型展示

電車を主とした鉄道模型の走行をご覧いただけます。

● 鉄道風景写真展

上越線を走る列車の写真を展示します。（一部吾妻線と両毛線の写真も展示）

(3) その他・物販等

● 物販

SL運行時の写真等が描かれた掛け紙の「鉄道わくわく体験 in みなかみ」記念弁当（数量限定）や鉄道グッズの販売をします。また、上越線沿線の市町村による物産販売等を予定しております。

● 臨時列車

「鉄道わくわく体験 in みなかみ」にお越しいただく楽しみがさらに広がる臨時列車をご利用ください。

10月15日（土）に運転の水上発着の臨時列車

列車名	発駅時刻	主な途中停車駅の発駅時刻			着駅時刻
快速EL&SLみなかみ	千葉みなと 7:00	▶ 西船橋 7:28	▶ 大宮 8:27	▶ 高崎 9:56	▶ 水上 12:04
快速SLみなかみ	水上 15:20	▶ 沼田 15:52	▶ 渋川 16:35	▶ 新前橋 17:01	▶ 高崎 17:13
鉄道わくわく体験号(上り)	新潟 7:40	▶ 長岡 08:52	▶ 六日町 09:43	▶ 水上 10:49	
鉄道わくわく体験号(下り)	水上 16:37	▶ 六日町 17:19	▶ 長岡 18:16	▶ 新潟 19:20	

※列車の詳細については、「家族ではじめるぐんまのススメ 秋」をご覧ください。

2 高崎鉄道ふれあいデー

(1) イベント概要

- ① 日 時： 10月29日（土）10：00～15：00
（線路内および一部のイベントは14：30終了）
- ② 場 所： 高崎駅南側留置線ほか（高崎駅東口から徒歩約3分）
- ③ 入 場 料： 無料
※混雑状況に応じて入場制限をさせていただく場合がございます。
※駐輪場・駐車場はございません。歩きやすい靴でお越しください。

(2) 主なイベントメニュー

① 特長

いろいろな種類の機関車が、近くで見ることができます。
普段はなかなか見られない、とてもレアな列車が集合します。
また、小さなお子さまもお楽しみいただけるキッズステーションや駅長・機関士制服
撮影コーナー等もご用意しています。

② 車両展示・保守基地見学

● 車両展示

D51498・DD51842・EF6019・EF65501・EF66・EH200・EH500 を展示します。

（車両の詳細は別紙1をご参照ください。）

※展示車両は現在調整中です。掲載してある写真は全てイメージです。実際とは異なる
場合がございますのであらかじめご了承ください。

● 高崎南部新幹線保守基地

高崎南部新幹線高架上にある新幹線保守基地を公開し、新幹線保守用車両の展示を行います。

※新幹線保守基地への入場は整理券が必要です。整理券は当日第2会場入り口付近にて
配布します。券を受け取り後速やかにご入場いただけます。数に限りがございますの
でご了承ください。（毎回定員：150名）

- ・ 第1回目整理券配布 10時15分～
- ・ 第2回目整理券配布 11時05分～
- ・ 第3回目整理券配布 11時55分～
- ・ 第4回目整理券配布 12時45分～
- ・ 第5回目整理券配布 13時35分～

③ 実演・体験型メニュー

● 車掌(シュミットくん)体験

車掌訓練用の模擬車両で、本物の電車と同じドア開閉スイッチや放送マイクなどが備わ
っています。車掌はお客さまに列車を安全そして快適にご利用いただくため、この装置
を活用しドア開閉の取扱いや車内放送の訓練を行っています。車掌体験コーナーでは、
この装置を使って車掌の仕事を体験できます。また、イベント車掌用制服（こどもサイ
ズのみ）を着て記念撮影もお楽しみいただけます。

※14時30分までとなります。

※カメラ等はお客さまご自身でご用意ください。

● レールスター乗車体験

降雨時や災害時の保守・点検を行う車両に乗車体験ができます。

※小学生以上の方とさせていただきます。

※14時30分までとなります。

● 保守作業車両の乗車体験（軌陸型高所作業車）

列車の安全運行を陰で支えている保守用機械の乗車体験ができます。

※小学生以上の方とさせていただきます。

※乗車は14時30分までとさせていただきます。

④ おたのしみメニュー

● キッズステーション

お子さまが楽しめるイベント（カードめくり・スーパーボールすくい・サイコロゲーム
等）ペーパークラフト作り・じゃんけん大会等を行います。

● 駅長・機関士制服記念撮影

子供用の駅長・機関士制服を着て記念撮影をお楽しみいただけます。

※カメラ等はお客さまご自身でご用意ください。



⑤ その他・物販等

● 物販

当日限定の記念弁当（数量限定）や飲料等その他、鉄道グッズ等の販売をいたします。
また、高崎市をはじめ沿線の地域物産等を中心に販売いたします。

● ググっとぐんま鉄道スタンプラリー

鉄道を使ってスタンプを集めながら群馬県の旅をお楽しみいただく企画です。
当日、会場に対象スタンプを設置いたします。

「高崎鉄道ふれあいデー」展示車両のご紹介



《D51 498》

D51は、数ある蒸気機関車の中で最も製造両数が多く、1936（昭和11）年～1945（昭和20）年の間に1115両製造されました。けん引性能や外観に優れ、旅客列車・貨物列車を問わず日本全国で活躍し、「デゴイチ」の愛称で多くの人たちに親しまれていました。498号機は1972（昭和47）年10月の国鉄100周年記念運転（八高線・高崎～八王子間）を最後に、上越線・後閑駅に静態保存されたのち、1988（昭和63）年11月にJR東日本大宮工場（現在の大宮総合車両センター）で復元され、群馬県をはじめとして臨時列車をけん引し活躍しています。



《EF66》

EF66は、1000トンを超える高速貨物列車を単機でけん引できる性能をめざして開発され、当時主力機関車であるEF65の約1.5倍の出力を実現した機関車です。運転台を高くした独特のデザインと電磁ブレーキを装備している点が特徴です。同機関車は国鉄時代に56両製造されましたが、徐々に数を減らし現在はJR貨物吹田機関区に8両残すのみとなりました。



《EH500》

EH500は、JR貨物が1997（平成9）年から製造する交直両用電気機関車です。従来、首都圏から五稜郭に行くには、直流機・交流機・青函用交流機と3種類の機関車が必要であり、付け替え作業等で到着時間が余分にかかっていました。EH500の登場により、首都圏から五稜郭まで1両の電気機関車で直通運転できるようになりました。北海道新幹線開業に伴う架線電圧変更や保安措置の関係で五稜郭までの乗り入れはなくなり、現在は青森までの運用となりました。同機には公式愛称があり「ECO-POWER金太郎」とされており、車体に金太郎のロゴが描かれています。JR貨物仙台総合鉄道部と門司機関区に配置され活躍しています。



《EH200》

EH200は、JR貨物が2001（平成13）年から製造している直流電気機関車です。上越線・中央本線・篠ノ井線等の勾配線区で使用されてきたEF64形の重連運転解消及び老朽取替を目的に開発されました。また、同形式には公式愛称があり「ECO-POWERブルーサンダー」とされており、車体には愛称ロゴの稲妻が描かれています。なお全機JR貨物高崎機関区に配置され貨物輸送に活躍しています。



《EF60 19》

EF60は、国鉄が1960（昭和35）年に東海道・山陽本線で貨物列車用として小型軽量化をめざして開発された直流電気機関車です。19号機は、1962（昭和37）年に製造され東海道・山陽本線で使用され、1981（昭和56）年に高崎第二機関区へ転入しました。当時の高崎鉄道管理局には、お座敷列車「くつろぎ」「やすらぎ」がありその内の「やすらぎ」けん引指定機になり客車と同じ塗装に変更されました。その後「やすらぎ」が廃車された後も塗装は維持されましたが、2007（平成19）年の検査の際に現在の国鉄直流標準色に戻され、現役で稼働しているのは全国で当機のみです。



《DD51 842》

DD51は蒸気機関車の代わりとして1962（昭和37）年から1978（昭和53）年までの16年間に649両が製造され、四国を除く全国で客車・貨物等をけん引し活躍しました。

842号機は東日本管内の非電化区間の皇室用列車けん引機として整備され、台枠側面の飾り帯やデッキ手すり・煙突カバーにステンレスが用いられています。皇室用列車の他、イベント列車・工事列車等に使用されています。なお、DD51の1号機は、碓氷峠鉄道文化むらに保存展示されています。



《EF65 501》

EF65は、EF60を基本に歯数比の変更で中高速におけるけん引力の改善を図り誕生しました。500番台については、東海道線などのブルートレインやコンテナ列車用など、高速運転に対応可能な設計で、ブルートレインけん引を後継機関車に譲ったのちは、高崎線を中心とした首都圏の貨物列車けん引用に転用されました。トップナンバーである501号機は、イベント列車や工臨等の先頭に立ち活躍しています。